
いろいろせって

ナミリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いろいろさせて

【Nコード】

N4608W

【作者名】

ナミリ

【あらすじ】

特にないあらすじ 思いついたことをメモするだけ

ネタ1

周りは人だったモノが散らばりすでに息はないようだ。

銃のリロードをしそれをホルスターにしまう

少女はそれから木にもたれかかり静かに空を見上げる。

空は満天の星星　雲ひとつなかった。

しばらくした後

少女はバッグから固形燃料を取り出しお湯を沸かす。

今日もいつものように携帯食料を取り出しおもむろに食した。

風はほどよく涼しいそして少女はその木にもたれかかりながら

毛布にくるんでまぶたを閉じる

蝉の鳴く声がただその平原に広がる

ネタ2

盗賊のような男たちが左に2人、右に3人ほどいる
相手は銃を構え金品を要求した。

少女は撃鉄を起こし狙いを定めリーダー格の男を狙い引き金を引いた
パンと言う音とともに少女の腕が上がった。

リーダー格の男の心臓に命中し男の取り巻きが銃を撃ってくる
それをよけつつ若い男の足を2～3発撃ってあげた。

うめき声と怒声が響く間に物陰に隠れリロードをする

弾が入ったのを確認し物陰からの確に3人の頭を撃つ

そうすると叫びがとまりそこに残ったのは死んでいる男4人と

足を撃たれていた男が一人

生かしておくと危ないからしっかりと止めを刺して遺物の回収をした

遺体の中身は少しの銀貨とシングルアクションのリボルバー三丁

リーダー格の持っていた単発式ライフルが一丁

そしてある程度の銃弾があった。

規格が合わないのではらすしかないが

弾丸を装填しホルスターにしまう

そして少女はこの道を進む

ネタ3

1週間程度この平原を進みやっと町が見えた。
門番に滞在許可を取ると広場に行き案内の通りに町の武器屋によつた。

店主に盗賊からいただいた品などを店主に鑑定してもらった。

店主が言うにはなかなかの一品だ。普通手に入らないだろうが・・・
そういえばこの近くにある

盗賊たちが持っていたような気がする。

もちろんその盗賊から奪ったもののなのだが

金貨5枚程度の利益だ

その後弾はないかとたずねると

「弾はなあ・・・火薬と空薬莖と弾頭はあるんだが作成はできない」
ならばそれでも良いと言い銀貨2枚で火薬を買った

ネタ4

刀技・神無

刀技の基本

抜刀しながら全力でダッシュすることで前にいる敵や障害物を斬ることができる

これが使えなかったらほかの技は使える訳がない
熟練者は素手ですらできる

刀技・千反

刀技の防御技

前面にだけに効果がある

魔法を切り刻むことにより魔力を分散

魔法を消去する技

刀技・弾石

刀技のカウンター技

敵の攻撃が目の前に来たときに刀を少し斜めに振り払うことで隙ができる

ただし刀は脆いので硬い武器か気を通さないと武器が損傷する

刀業・咲血

敵に音速で刀を当てる

そうすると花のように血が吹き出す

絶対によけることはできない

ただし体にとっても負荷がかかる

刀業・弓月

刀を高速で振ることで衝撃波が出る

放物線を描き三つに分かれ相手を切り刻む

刀業・残影

刀を振ると斬撃が消え

亜光速で切断していく

刀を極めし者の基本的な攻撃方法

神技・覚醒

自らの精神と肉体を活性化させ

人間の限界を超えて動くことができる

選ばれた人だけが使うことができる

神力をつかう

心技・滅生

自分の殺気を刀にのせ

細かく揺らすことで増幅する

一部の魔獣には無効

炎刀・焰龍山

刀を本気で振り衝撃波と衝撃波をぶつけ

それによって熱し強大な焰をだし

焼き尽くす

氷刀・氷虎

殺気を込めた鎌鼬によって

幻想と現実の区別がつかなくなり

やがて動けなくなる

ネタ5

これは少し未来のお話

2036年8月

大学の研究者たちが分子配列の変換に成功した。

これにより炎や氷など分子を変換して作成することが出来るようになった

それを人々は魔科学と呼ばれるようになり

それを発動する物をリキユース、それを使うものをリキユースーと呼ばれるようになった

これにより人類の文明は著しく発達するのだが

これを改造し悪用する者たちが増加する

世界はこれに対して世界魔科学機器使用制限協会、通称WMSを立ち上げる

この物語はWMSに配属される一人の青年の物語である

ネタ6

リキユース

魔科学のこと3036年に結城博士と助手6人で作成されたもの
分子の配列を変換することで二酸化炭素を酸素と墨に変換すること
もできる

これにより地球温暖化がなくなり燃料枯渇の問題をなくなった
だが現在、軍事目的の使用が問題になっている

リキユースー

魔科学機器を使う人たち

2042年現在では一般人の使用も許可されているが能力が制限さ
れていて殺傷能力はない

しかし戦闘目的で作成されているものは人間にコンピュータを埋め
込まなければ

威力は発揮されないので精神力の高く適合能力のある人しか使うこ
とができない

アクチュエーター

魔科学機器を効率よく使用するための機器

脳の中に埋め込む5ミリ四方の小さな機器前記のとおり適合能力が
低い場合

生体コンピュータが拒否反応を起こして
最悪の場合しに至る

W M S A

世界魔科学管理協会の略

魔科学を軍事目的や犯罪目的で使用しないように監視、管理しているところ

主人公が所属している高校もこのW M S Aによって作られている

パトナ

魔科学を悪用する組織

誘拐したものを洗脳しアクチュエーターを埋め込み

犯罪行為や破壊行為を行っている

だが詳しい実態はわからない

魔工学兵器

戦闘に特化されている兵器

原理は魔科学だが

燃焼系統 凍結系統 重力系統 雷風系統

の四種類がある

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4608w/>

いろいろせて

2011年12月3日18時00分発行